

カレブ会

イントロダクション

- (1) 1978年(31歳) シカゴのデボン教会でのメッセージ
 - ①「ヘブロンを私に」
 - ②自分自身への励ましが必要な年齢になった。
- (2) カレブという人物を基に、カレブ会の理念を確立したい。
 - ①3つのC

1. Character (人格の完成)

(1) ヨシ 14:6~11

Jos 14:6 ユダ族の人々がギルガルのヨシュアのところによって来た。その一人ケナズ人エフネの子カレブがヨシュアに言った。「【主】がカデシュ・バルネアで、私とあなたについて神の人モーセに話されたことを、あなたはよくご存じのほうです。

Jos 14:7 【主】のしもべモーセがこの地を偵察させるために、私をカデシュ・バルネアから遣わしたとき、私は四十歳でした。私は自分の心にあるとおりを彼に報告しました。

Jos 14:8 私とともに上って行った私の兄弟たちは民の心をくじきました。しかし私は、私の神、【主】に従い通しました。

Jos 14:9 その日、モーセは誓いました。『あなたの足が踏む地は必ず、永久に、あなたとあなたの子孫の相続地となる。あなたが私の神、【主】に従い通したからである。』

Jos 14:10 ご覧ください。イスラエルが荒野を歩んでいたときに、【主】がこのことばをモーセに語って以来四十五年、【主】は語られたとおりに私を生かしてくださいました。ご覧ください。今日、私は八十五歳です。

Jos 14:11 モーセが私を遣わした日と同様に、今も私は壮健です。私の今の力はあの時の力と変わらず、戦争にも日常の出入りにも耐えうるものです。

(2) カレブの人格

- ①彼は、40歳でカナンの地の偵察に出かけた。
- ②彼は、信仰に基づく報告をした。
- ③彼は、「あなたの足が踏む地は必ず、永久に、あなたとあなたの子孫の相続地となる」という約束を信じた。
- ④それから45年が経過し、彼は85歳になった。
- ⑤彼は、依然として肉体的にも霊的にも壮健である。

2. Challenge (困難なことへの挑戦)

(1) ヨシ 14:12~14

Jos 14:12 今、【主】があの日に語られたこの山地を、私に与えてください。そこにアナク人がいて城壁のある大きな町々があることは、あの日あなたも聞いていることです。しかし【主】が私とともにいてくだされば、【主】が約束されたように、私は彼らを追い払うことができます。」

Jos 14:13 ヨシュアはエフンネの子カレブを祝福し、彼にヘブロンを相続地として与えた。

Jos 14:14 このようにして、ヘブロンはケナズ人エフンネの子カレブの相続地となった。今日もそうである。彼がイスラエルの神、【主】に従い通したからである。

(2) カレブの挑戦

①彼は、アナク人がいて城壁のある大きな町々がある山地を求めた。

②ヨシュアは、彼にヘブロンを相続地として与えた。

3. Chain (信仰の継承)

(1) ヨシ 15 : 14~17

Jos 15:14 カレブはそこからアナクの三人の息子、シェシャイ、アヒマン、タルマイを追い払った。これらはアナクの子である。

Jos 15:15 そして彼は、そこからデビルの住民のところに攻め上った。デビルの名は、かつてはキルヤテ・セフェルであった。

Jos 15:16 そのときカレブは言った。「キルヤテ・セフェルを討って、これを攻め取る者に、私の娘アクサを妻として与えよう。」

Jos 15:17 カレブの同族ケナズの子オテニエルがそれを攻め取ったので、カレブは娘アクサを彼に妻として与えた。

(2) 信仰の継承

①デビルという町を攻め取る者を募った。

②オテニエルがそれを為したので、カレブは娘アクサを妻として与えた。

③カレブはケナズ人であるが、ユダ族の一員となった。

④オテニエルは、カレブの甥である。

まとめ

(1) 自我に縛られるのではなく、人格（信仰）の完成を目指す。

(2) 戦線離脱ではなく、困難なことに挑戦する。

(3) 自分一代ではなく、次世代のリーダーを育てる。